



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「つばき油の生産量」と「人口 100 万人当たりの常設映画館数」です。



つばき油の生産量

検索



人口 100 万人当たりの常設映画館数

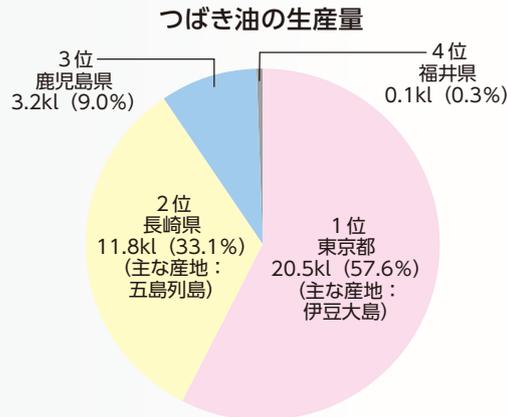
検索



つばき油の生産量

つばき油の生産量を都道府県別に見てみると、長崎県が全国の約3分の1を占めています。長崎県内でのつばき油の主要産地である五島列島は、対馬暖流の影響を受けて年中温暖な気候に恵まれ、「東の(伊豆)大島、西の五島」と並び称されるほどつばきが豊富に自生しており、古くからつばき油の生産が盛んです。また、五島産のつばき油は品質の高さでも有名で、江戸時代には幕府への献上品として納められていた他、最近では大手化粧品メーカーのヘアケア製品の原料としても使用されています。

現在は、つばき油を地域の活性化につなげようと、行政と地元企業が連携し、化粧品等の製品開発やエステツアーの企画などが進められています。



(出所:農林水産省「特用林産物生産統計調査(平成25年)」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

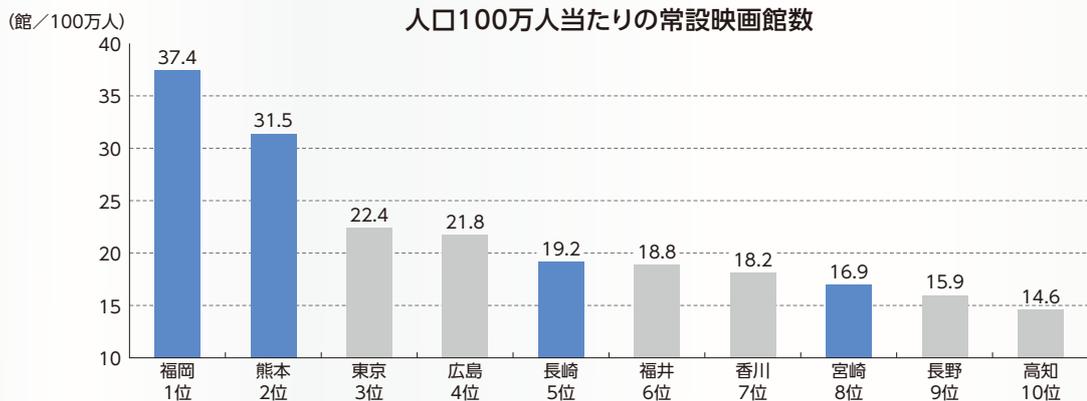
人口100万人当たりの常設映画館数

人口100万人当たりの常設映画館数を都道府県別に見てみると、福岡県が全国第1位となっています。

福岡県内の映画館数が多いのは、外資系シネマコンプレックス(※)の進出が理由です。1996年、福岡市内の商業施設内に開設されたシネマコンプレックスは、日本最大級のスクリーン数という目新しさもあって、多くの来場者で賑わい、その盛況ぶりを見た他の事業者が相次いで福岡に進出。多様なシネマコンプレックスの集積が更に多くの来場者を呼び込むという好循環が形成されました。全国の映画館数が2割強減少するなかで、福岡県内の映画館数は2倍近くに増加しました(1996年～2014年)。

現在シネマコンプレックスには、3Dや体感型シアター等の新たなサービスも導入され、新しい展開を見せています。

(※)シネマコンプレックス…1施設内に5つ以上のスクリーンを備え、複数の映画を同時に上映できる複合型映画館。



(出所:総務省「統計でみる都道府県のすがた2015」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 減速の兆しがみられる

福岡県の景気は、減速の兆しがみられます。

生産は、四輪自動車が減産となった輸送機械が低下する等、弱含みの兆しがみられます。個人消費は、主力の衣料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったことから、全体でも2カ月連続で前年を下回りました。

(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は103.3と前月比7.9%低下しました。

主要業種では、一部車種の生産終了に伴い四輪自動車が減産となった輸送機械が低下しました。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

9月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.7%増の515億円となりました。

大型連休やプロ野球のリーグ優勝セールの影響で、主力の衣料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





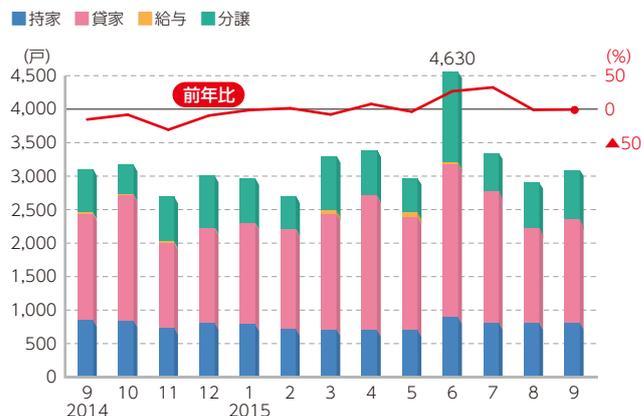
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比0.5%減の3,145戸となりました。

「分譲(マンション)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったことから、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



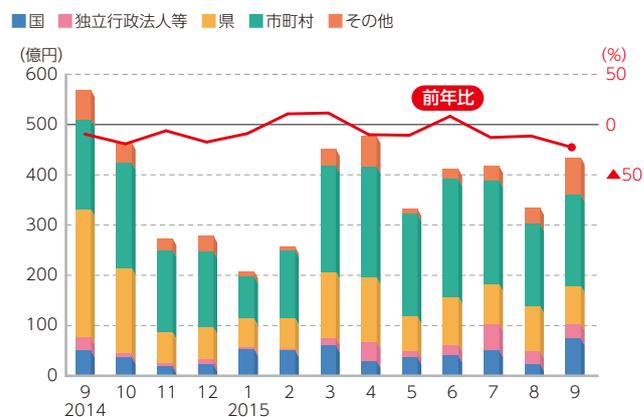
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比19.5%減の893件、金額が同23.6%減の442億円となりました。

発注者別では、市街地再開発事業の大型案件があった「その他公共的団体」等が前年を上回りましたが、「県」が前年を大きく下回りました。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



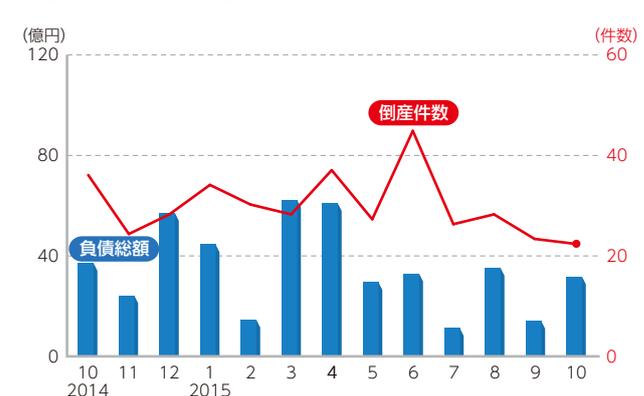
5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比38.9%減の22件、負債総額は同14.4%減の約32億円となりました。

遊戯機器卸業で8億円、油圧配管工事業で約5億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 減速の兆しがみられる

熊本県の景気は、減速の兆しがみられます。

生産は、特殊産業機械の生産が減少したはん用・生産用機械が低下する等、弱含みの兆しがみられます。個人消費は、主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回ったことから、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

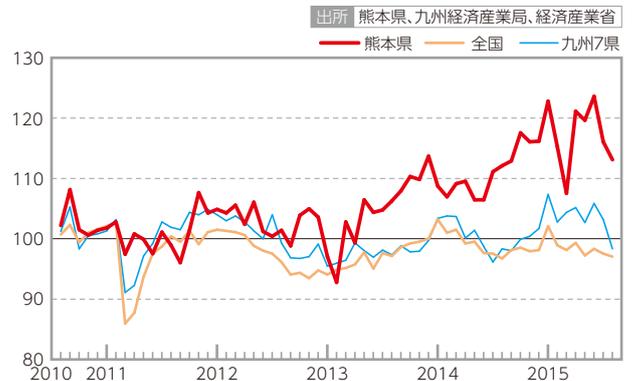
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は113.2と前月比2.6%低下しました。

主要業種では、集積回路が増産となった電子部品・デバイスは上昇したものの、特殊産業機械の生産が減少したはん用・生産用機械が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

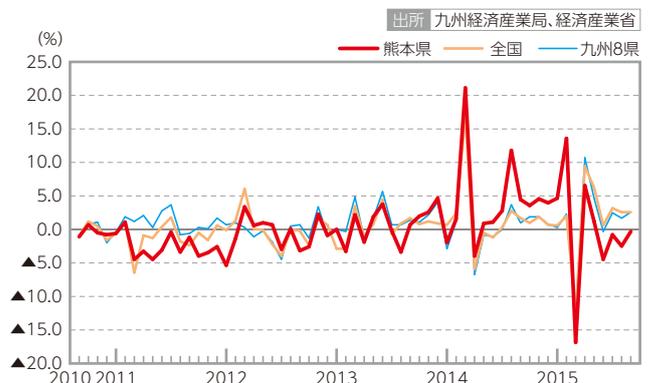


2.個人消費 | 底堅く推移している

9月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.3%減の116億円となりました。

上中旬の気候低下の影響で衣料品が振るわず、また今年2月の百貨店閉店の影響もあり前年を下回りましたが、主力の飲食料品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



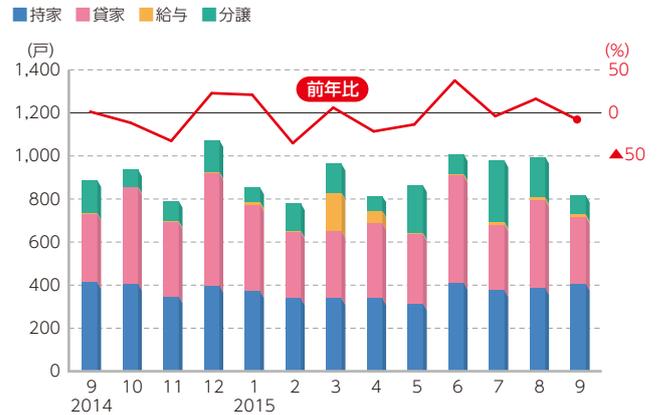
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比7.9%減の823戸となりました。

「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回ったことから、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



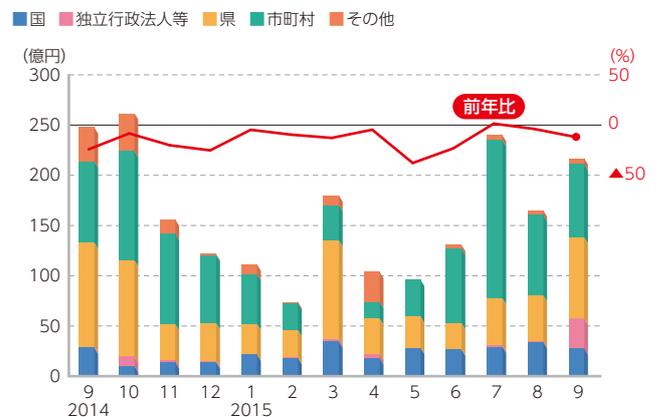
4.公共工事 | 2カ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比23.5%減の625件、金額が同12.4%減の219億円となりました。

発注者別では、大学校舎新築工事の大型案件があった「独立行政法人等」以外は全て前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比16.7%増の7件、負債総額は同19.3%増の約7億円となりました。

建設業で約2億円の倒産が2件発生し、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

長崎県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、ボイラーの生産が減少したはん用・生産用機械が低下する等、弱含んでいます。個人消費は、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったことから、全体でも3カ月連続で前年を下回りました。

(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は70.0と前月比12.8%低下しました。

主要業種では、半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇したものの、ボイラーの生産が減少したはん用・生産用機械が低下する等、弱含んでいます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

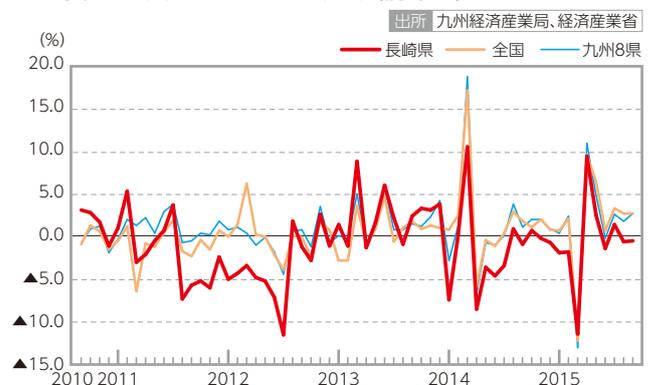


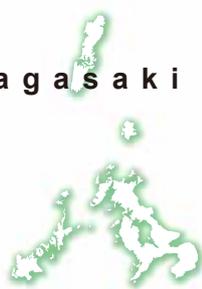
2.個人消費 | 底堅く推移している

9月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.6%減の84億円となりました。

上中旬の気温低下の影響で衣料品が振るわなかったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





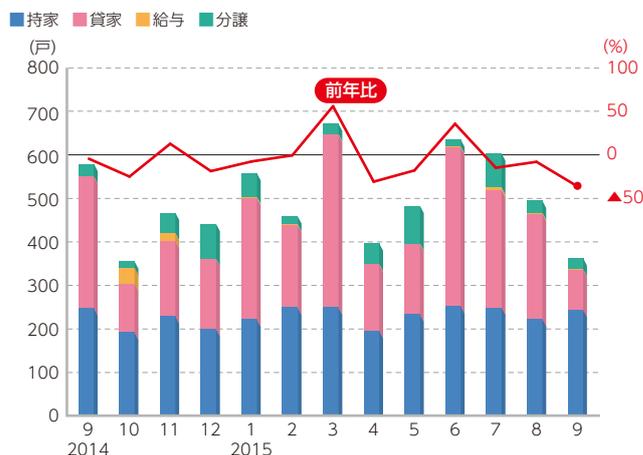
3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を下回る

9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比37.4%減の366戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回り、全体でも3カ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



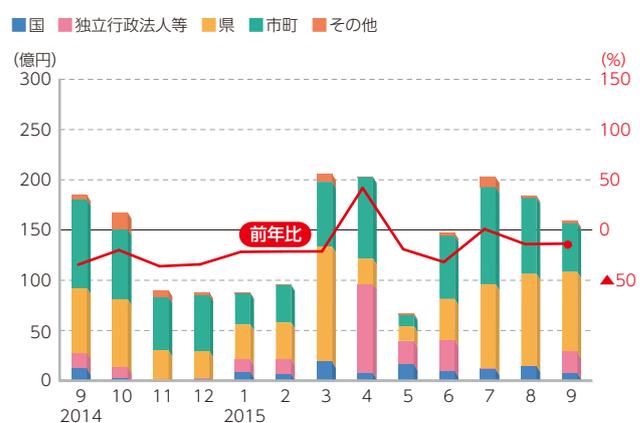
4.公共工事 | 2カ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比1.6%増の446件、金額が同14.0%減の161億円となりました。

発注者別では、九州新幹線関連工事等の発注があった「独立行政法人等」が前年を上回りましたが、「国」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



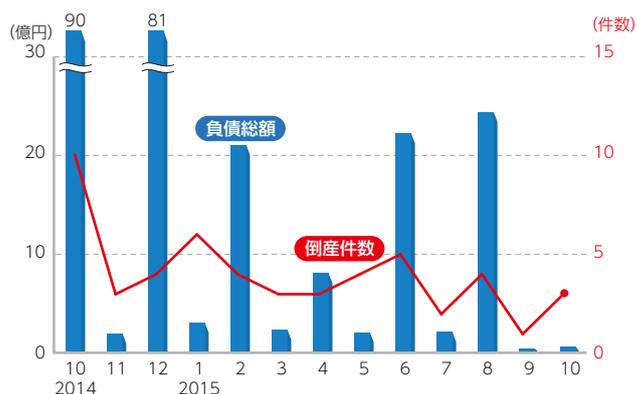
5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比70.0%減の3件、負債総額は同99.4%減の約6千万円となりました。

負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、底堅く推移しています。

生産は、鋼船の生産が増加した輸送機械が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、「貸家」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.1と前月比2.3%低下しました。

主要業種では、清酒の生産が減少した食料品が低下したものの、鋼船が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

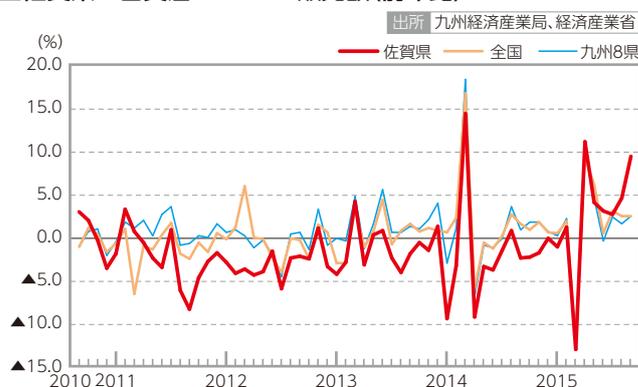


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

9月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比9.6%増の50億円となりました。

主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





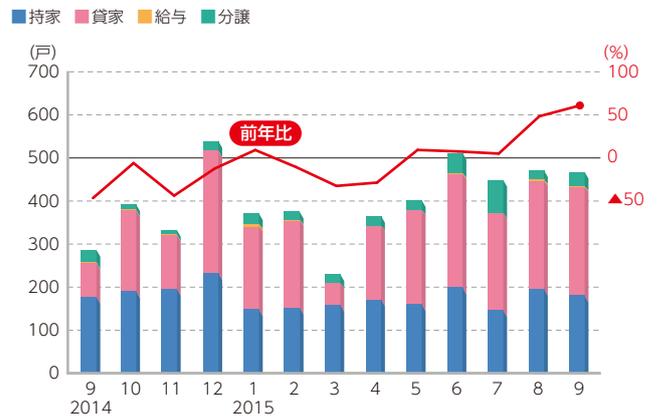
3.住宅建設 | 好調に推移している

9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比63.2%増の475戸となりました。

「貸家」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■ 佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



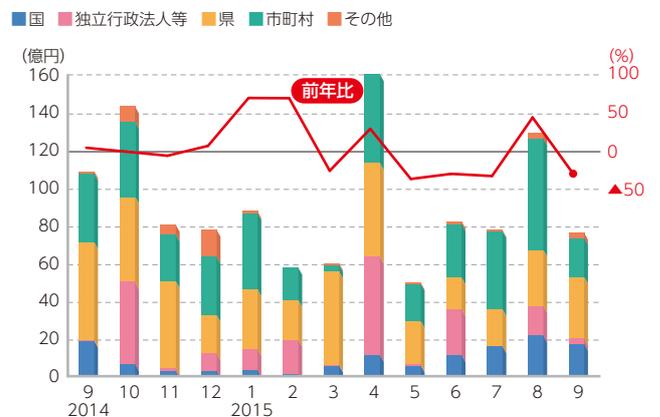
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比20.8%減の244件、金額が同30.0%減の77億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、「国」「県」「市町村」が前年を下回りました。

■ 佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比75.0%増の7件、負債総額は同89.4%増の約28億円となりました。

半導体用資材製造販売業で約23億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■ 佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 減速の兆しがみられる

大分県の景気は、減速の兆しがみられます。

生産は、デジタルカメラの生産が減少した電気・情報通信機械が低下する等、弱含みの兆しがみられます。個人消費は、主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲」のすべてにおいて前年を下回った結果、全体でも5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.8と前月比0.9%低下しました。

主要業種では、医薬品が増産となった化学・石油製品は上昇したものの、デジタルカメラの生産が減少した電気・情報通信機械が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

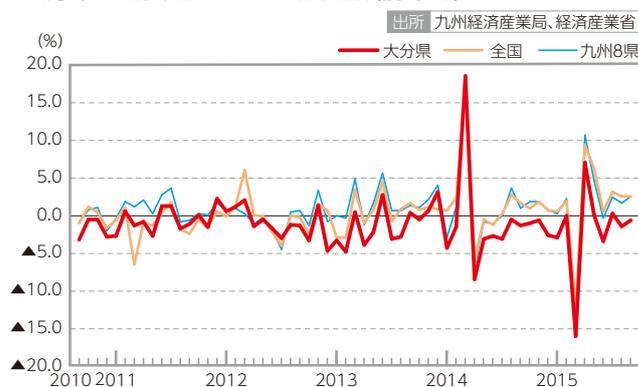


2.個人消費 | 底堅く推移している

9月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.6%減の81億円となりました。

上中旬の気温低下の影響で衣料品が振るわなかったものの、主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





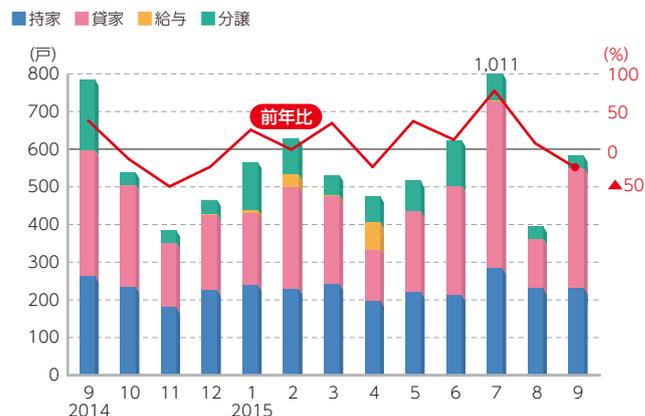
3.住宅建設 | 5ヵ月ぶりに前年を下回る

9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比25.9%減の587戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」のすべてにおいて前年を下回った結果、全体でも5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



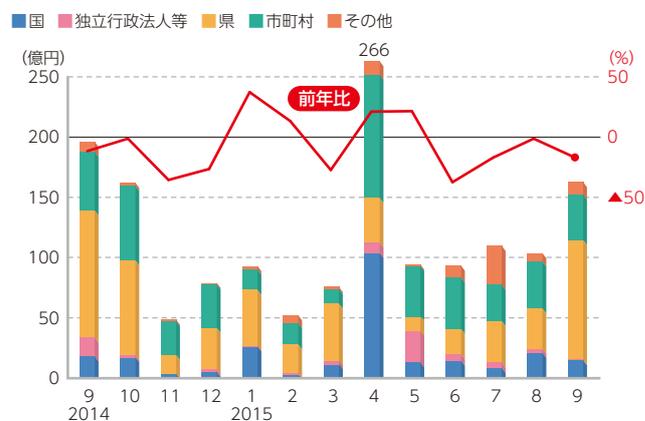
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.8%減の531件、金額が同17.1%減の165億円となりました。

発注者別では、福祉関連施設新築工事の発注があった「その他公共的団体」以外は全て前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2倍の6件、負債総額は同40.5%減の約12億円となりました。

縫製業で約7億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 減速の兆しがみられる

宮崎県の景気は、減速の兆しがみられます。

生産は、焼酎の生産が減少した食料品が低下する等、弱含みの兆しがみられます。個人消費は、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「貸家」が前年を大きく上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

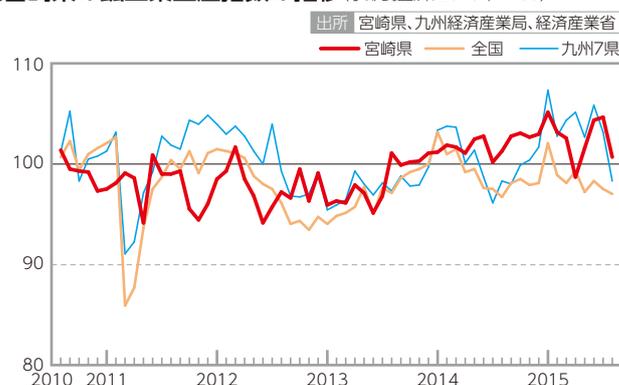
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は100.7と前月比3.8%低下しました。

主要業種では、ヘロニッケル(ステンレス材料)が増産となった鉄鋼・金属製品が上昇したものの、焼酎の生産が減少した食料品が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

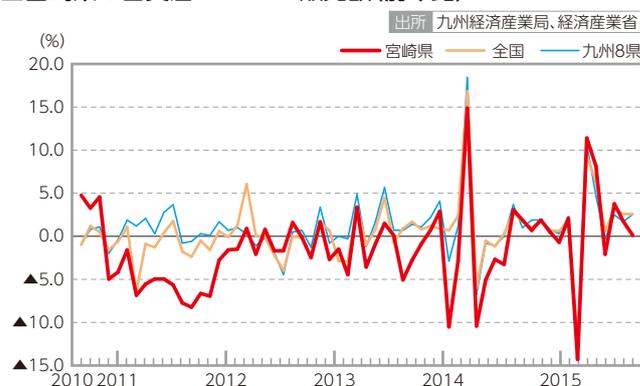


2.個人消費 | 底堅く推移している

9月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.1%増の54億円となりました。

上中旬の気温低下の影響で衣料品が振るわなかったものの、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





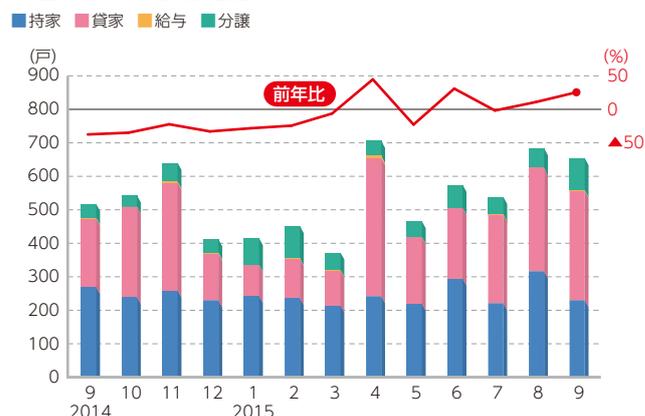
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比26.5%増の659戸となりました。

「貸家」が前年を大きく上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



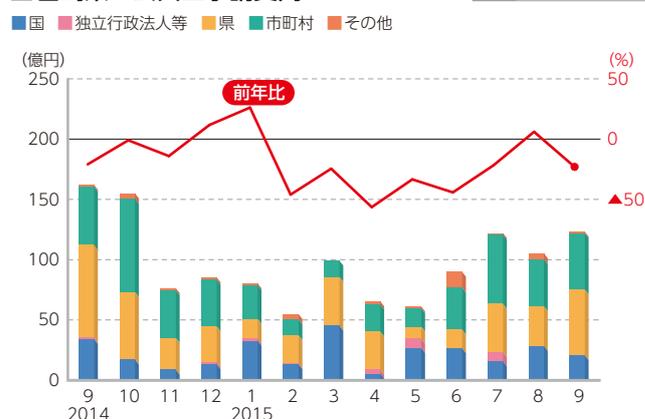
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比26.1%減の430件、金額が同23.9%減の125億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、全ての項目で前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は低水準に抑制

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の5件、負債総額が前年同月比45.2%減の約2億円となりました。

大型倒産の発生はなく、負債総額は低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

鹿児島県の景気は、弱含みの兆しがみられます。

生産は、焼酎の生産が減少した食料品が低下する等、弱含んでいます。個人消費は、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「分譲」が前年を下回ったことから、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

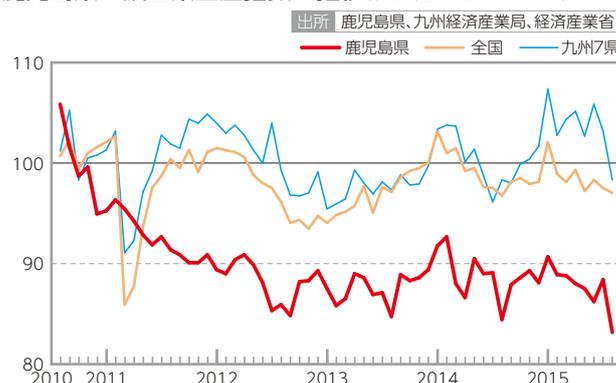
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含んでいる

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は83.0と前月比6.0%低下しました。

主要業種では、焼酎の生産が減少した食料品が低下する等、弱含んでいます。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

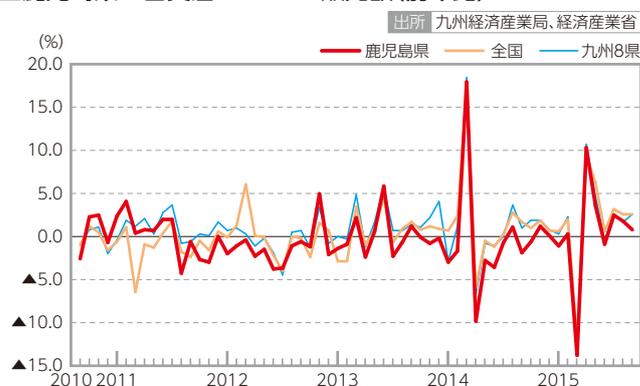


2.個人消費 | 底堅く推移している

9月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.8%増の113億円となりました。

上中旬の気温低下の影響で衣料品が振るわなかったものの、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





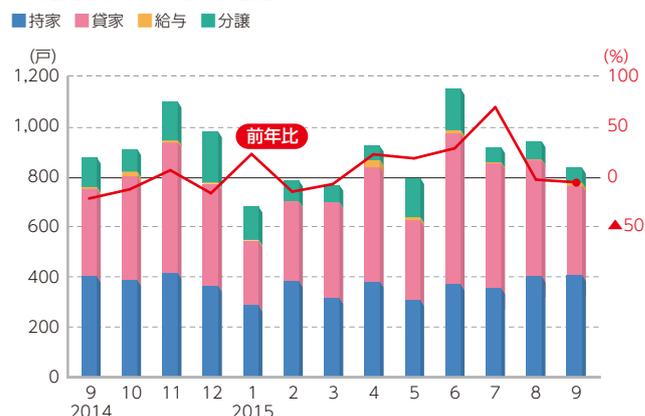
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.6%減の841戸となりました。

「持家」「貸家」が前年を上回ったものの、「分譲」が前年を下回ったことから、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



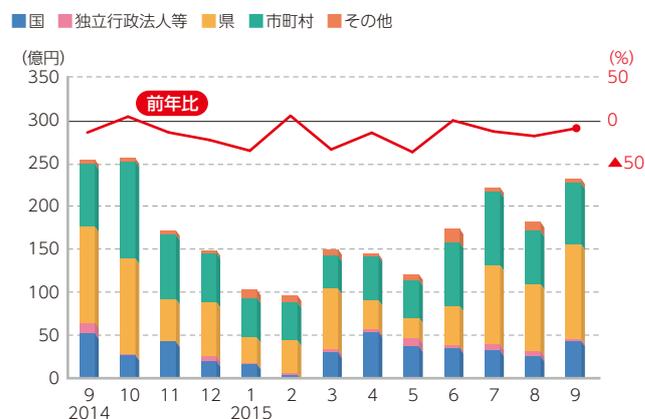
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.1%減の755件、金額が同8.7%減の234億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、「その他公共的団体」以外は全て全体を下回りました。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比60.0%減の2件、負債総額は同73.3%減の約1億円となりました。

負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

